

衛生改善は貧困削減に貢献する——バングラデシュにおける状況——

背景

貧困削減と持続する開発のために衛生改善が重要であることは二〇〇二年八月南アフリカのヨハネスブルクで開かれた「環境と開発のための世界首脳会議（WSSD）」で正しく認識された。世界のリーダー達は二〇一五年までに、安全で良質な水と衛生施設にアクセス出来ない二十五億もの人々を半減させることに同意した。この問題に関して優先順位を高く維持するため「バ」国政府は二〇一〇年までに国民に対しての衛生改善を百％確実にする強力なプログラムに着手したのである。

バングラデシュは世界の開発途上と言われる四十七ヶ国のひとつであり、二〇〇二年国連開発計画（UNDP）が発表した人間性開発指数（Human

NGO「SPACE」代表 アザール アリ プラマニク

Development Index）に関しては百七十三カ国中百四十五番目に位置している。一人当たりの国民総所得（GNI）はおよそ四百ドルである。国民の四八・九％が貧困レベルを下回る生活をしており、八二・八％の国民は一日二US\$以下の収入で、さらに三六％のひとは一日一US\$以下の生活を強いられている。カロリー摂取量で見ると、地方では四四・三％の人々が、都市部では五二・五％が不足気味であり、さらには地方では十八・七％の人々の、都市部では二五％の人々のカロリー摂取量が極端に少ない。衛生施設へのアクセスが悪いことが、この好ましくない状況をもたらした主要な原因の一つである。バングラデシュの国民は所得、栄養、教育、健康という貧困の指標の他に「衛生の欠如」という貧困にも

直面している。「衛生の欠如」とは「適切な衛生施設を利用できない」ということである。バングラデシュの「水道と衛生政策」を堅持するためには、衛生の最低限度のラインとして、各家庭が低コストのし尿処理手段（ピットラトリン）を持つということになっている。衛生に関してはバングラデシュの状況はどの地域においても非常に悪いシナリオが展開している。しかしながら衛生の貧困は社会経済状況にに応じて変化するものである。

バングラデシュ政府は最近ではヒ素汚染の問題や地下水面の低下傾向等の水の安全に関する緊急課題については特筆すべき成功を収めているが、こと衛生問題となるとまだお先真っ暗の状態である。二〇〇三年に行われた国の調査によると、地方においては平均三三％の家庭が、都市にあつては平均五九％の家庭が衛生的なラトリンを使用している。これはなお都市部でおよそ四百五十万家族が、地方で九百万家族が不衛生的なラトリンを使用しているか野外で排便していることになる。同様に都市部のスラム街では約百三十万家族が衛生的なラトリンを持ってい



ない。このような衛生的施設のない状況の中ではこの国の国民の多くは野外で排泄を続けることになり、結果として二万トンのし尿が毎日野外に廃棄され、それは、結局は水源を汚染し、空気や環境を汚し、国民に多大な健康被害をもたらすのである。

このシナリオの背後にある本当の理由としては、衛生に対する国の優先度が低かったこと、(バングラデシュ政府は最近になってこれには優先度を与えたのだが)、不完全な計画、都市部への移住する住民の数が増えていること、急激な人口増加、調整力不足の組織があつたり、人々の意識が欠けていたり、伝統的な習慣というものがあつたりしたことが揚げられる。地方の行政機関や民間のセクター管理者を含めた数多くの開発組織が衛生状況の改善に取り組んでくれることが望ましい。

衛生の貧困が原因で起きる諸問題

野外での排泄行為や、非衛生的な環境は一連の社会経済問題を引き起こす数多くの健康障害の直接の根本原因となるものである。年間に五歳以下の十一万人の子供が下痢性の病気で死に、生き残った千人の子供の内七百九十一人が少なくとも年に四〜五回は下痢症に悩まされる。大人も水系あるいは糞便性に起因する疾病の犠牲になっている。

「収入を蝕む病気」は「バ」国の地方を貧困に苦しめる

主要な要因である。貧困家族は概して急性の病気に罹りやすい体質があり、急な予期しない健康に関する障害は収入と雇用の損失(極貧家庭の収入の10%に相当)を招くだけでなく増大する対処費用に関連して借金増加をも招くことになる。子供や他の家族の病気は、必要の無いかつ好ましからざる治療のための出費を余儀なくさせることになる。これは衛生の欠如がより多くの費用を出費させるという悩ましい証拠である。試算によると年間五十億タカ(八千万^{ドル})以上のお金が薬品、医者、移動費用として支払われている。生産性のロス、患者のケアのために使った時間、子供の発育への効果のファクターを勘案すると真のコストはもっと高いはずである。

貧しい家族が日常的な犠牲者となり、排泄物に起因する病気に最も懸かり易いのである。それは彼等が非衛生的な環境で生活しており、非衛生的な腐敗した食べ物を取扱う機会が多いからである。家族の誰かが罹病した時、彼等は治療のための費用を貯めていたお金から出すことなどとうてい出来ないのである。このような暮らし向きの事情から、食べ物かまたはどう

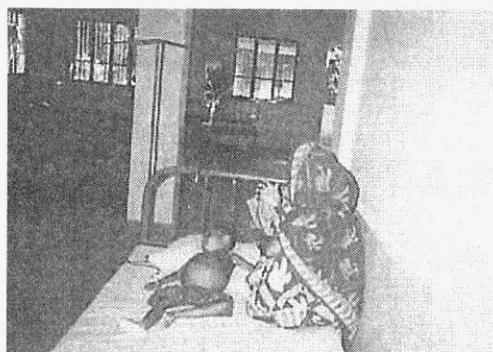
しても必要な他の日用品を買うために稼いだお金を使い、さもないければ高利貸から高い金利で借りるか、価値のある所有物、例えば家畜や所有不動産や樹木などを売るのである。それは社会と環境に対して二重の悪い結果を生む。まずひとつは、貧困層は彼等の固有資産を売ったりまた高利の借入金を負担して行くことにより段階的により貧しくなっていく。処置に懸かる費用は医者に支払われ、労働力や固有資産は裕福な人々に買収されてしまう。それは経済資産という項目において直接的に不平等な結果をもたらす、それは貧困の主要な根本原因の一つとなる。二つ目は樹木の破壊であり、これは環境に対して深刻な影響をもたらす。

子供達は糞便性の病原菌に病んだときは学校へは行けない。最も哀れむべき事態は、彼等の父親が母親を下痢性の疾病で失って、生活の上でもう一つの現実と向き合わねばならなかった時である。子供たちの中には稼がなければならぬ者も、母親が死んだためか、父親の再婚のためか、継母と住んでいる者もいる。これに加えて父親が唯一の稼ぎ手だっ

た場合、父親が病気の時は稼ぎ手の役は男の子に廻ってしまふ。女の子の存在はこういった事情では顕著に表れる。母親が水系疾病に掛かった場合家の仕事の仕事はその女子の肩に架かってくる。全ては彼等を学校へ行かせない要因となるのである。結果的に、貧困削減の前提条件の一つである小学校教育が深刻に妨げられることになる。

子供たちが病気になったら、ほとんど全ては母親が看護する。病気が治るまで昼となく夜となく不眠不休で看護する。病気のあるいは健康でない子供はいつも母親を不幸にし、心配させる。家族の中の女性は成人病に気をつけなければならない。その理由は女性に対する過度の肉体的精神的苦痛が彼女等の健康に対して同様に肉体的及び精神的に深刻に作用するからである。

子供の高死亡率や罹病率は水系のあるいは糞便性の病気に原因があるが、これが人々をしてもっと子供を生もうという動機になっている。彼等は子供の死亡率や罹病率が高いのを彼等自身の家庭であるいは近所、親戚で見て影響を受けているので、一人や二人の子供



たちでは安心

することは出

来ないし、幸せ

とも思わない

のである。出産

抑制努力はな

されず、人口

膨張はなお田

舎で進行中で

ある。

母親は愛す

る子供の死を

迎えた時落胆

する。母親にとって全人生にわたって肉体的、精神的な

影響をもたらす子供の死に耐えることは容易ではない。

このような不幸な状況はいつも彼女等を何らかの社会

経済的な活動に参加することから遠ざけてしまう。他

方で母親達は子供たちを糞便性の病気が原因で失って、

妊娠という余計なリスクを再三再四背負うことになる。

それは、婦人達にとって深刻な肉体的及び精神的な障

害ともなる。

一方で、幼児の死について人々の間にいくつかの宗教的迷信があるところが多い。地方の多くの人々は、ある眼に見えない悪霊と母親が無意識の内にコンタクトした結果、悪霊が子供を殺しに来ると信じている。何度も繰り返される子供の死は母親に多くの社会的な抑圧を与え、離婚させられることもあり、夫に第二夫人が出来るとか義母から他の家族と一緒に頑張って強く批判されるというような、恵まれない結果となる。

環境改善の効果

高度に衛生的なサービス環境（本質的に予防された環境）にあれば、貧しい家族が病気をすることによって収入が途絶えたり家計が危機に陥ったりすることが驚くほど減少するのである。このように多産の減少と健康の改善は貧困の軽減にとって同様に大切であることが分かる。専門家は飲料水というものは貧困の削減にかなり肯定的な作用があると見ている。飲料水のよりよいアクセスは生産性を改善し生活費を稼ぐ多くの機会をも形成するのである。

人的資源開発への貢献

衛生環境は人々を健康にすることに貢献し、そしてそれは労働力を生み出し家族や国家にとつての望ましくない出費を減少させる。結果として家族や国家は生産地域にとつての人員や市民の開発により多くの注意を向けることが出来、さらに必要な額のお金の投資準備を整えることが出来る。

経済の成長促進

衛生に関する知識や活動と連動したクリーンな環境は人々に健康リスクを減じた生活を保障する。結果的に人々は水系あるいは糞便性の疾病のために不必要な治療費を払う必要はない。それは直接的にお金を貯める効果に繋がるのです。彼等はずっと生産活動現場で働くことが出来、もっと貯蓄することが出来るのです。農地のような一次産業の現場での人間の排泄物の再利用や生物ガスを利用すると殺虫剤や食事を作る油を買わなくても良い分、人々はお金を貯められるばかりでなく衛生という要素を求めることは人々の雇用をも創出する。それはお金を稼いだりお金を貯め

たりするのを手助けし、経済成長にも貢献する。

不平等の削減

衛生改善の直接的結果として、人々は健康が増進し、病気が原因の数多くの必要でない経費からも解放される。水系あるいは糞便性の疾病の治療目的のために、食べ物を買う必要があつて稼いだお金を使うことはなくなり、非合法の金貸しから高利にもかかわらず借金する必要もなく、固有資産を失う可能性もなくなる。むしろ人々は沢山のお金を稼ぐことや貯蓄することが出来、固有資産を失うことから解放される。そしてそれは実に社会経済的な不平等を減ずる事に貢献する。

ご婦人方の参加を促進する

衛生の改善によつて婦人方は健康が促進され、生産現場に係わることも出来るようになる。そしてお金を稼ぎ新しいことを学ぶことは婦人への権利付与に直接貢献する。

妊婦の健康促進に貢献する

健康な子供たちはご夫人たちの肉体的な負担を軽くするだけではなく全ての家族間の精神的な平穩を保つことにも効果がある。ここで述べている全てのファクターは直接的に間接的に妊婦の健康保持に貢献し、ひいては男女共々開発活動への積極的な参加を促すことになる。

初等教育を促進する

衛生的に改善されると子供たちの下痢症の発生率を減少させ、健康に関するステイタスが上昇する結果を招く。そうすると親達は予期せぬ健康障害や死亡に対してお金を使わなくても良くなる。そして就学中の子供たちも休まず学校へ行く事が出来ることにも繋がる。一方では女子が就学を継続することにより早すぎる結婚から救済することが出来る。それはまた初等教育に直接貢献している両親や就学児童の保護者達を元氣付けることにもなるのである。

環境開発に貢献する

生産コストを下げるにより、人々は木々を売る必要がなくなる。決まった場所での衛生的な排泄行

為は、土壌に栄養を与え、また植物にも摂取される。経済活動において人間のし尿の再利用はプランターシヨンや灌漑において科学肥料や殺虫剤の使用量を減じることに貢献し、かつ環境リスクや疾病障害を減じ、転じて貧困の削減に貢献することが出来る。

産児制限に貢献する

糞便性の疾病が原因で起こる児童生存の不安定さや栄養失調症にかかる確率が高いことは夫婦や家族の他のメンバーが四く五人の子供の内少なくとも二人くらい生き残れば良いという考えから、より多くの子供を生もうと思うようになるのである。こうなると児童の生存保障が産児制限の重要な前提条件であることが分かる。このように衛生状況の改善が驚くほど子供の死亡率や罹病率を減ずる事に貢献し、それが直接的に人口抑制を招き寄せることになる。

終わりに

バングラデシュ国政府が二〇一〇年までに全国的に良好な衛生状況を確認にするための強力な計画に着手したにもかかわらず、現状の衛生環境は厳しい

と言わざるを得ない。健康障害、経済的な落ち込み、人口の膨張、識字率の向上を妨げる動き、環境の破壊というような予期せぬ数々の要素が貧困レベルの増加に影響を及ぼしていると思われる。これらの困難事情の絶対値とも言えるべきものが衛生環境促進事業を正しく方向づける開発活動に対してより多くの障害となっている。段階的に物事を進めることを考える。(a)エコロジカルサニテーションのマスプログラムに着手する、(b)多種多様の援助関係者間の相互の協働と調和を促進する、(c)衛生という切り口に対して深いメスを入れるべく指揮する、(d)衛生問題を他の開発活動と統合する、(e)あらゆるレベルの良い統治を確実にする、(f)生産活動において人間のし尿を再利用する、(g) NGOや他の民間組織の関与を促す、(h) 地方自治体組織の能力を強化する。こうするとバングラデシュは目標期間内に衛生環境目標を貧困の削減という部分において成し遂げることに成功するであろう。それには全ての地方組織の、国家組織のそして国際的な援助者の協働が必要である。

参考文献

- 「世界開発報告―2005」
「バングラデシュの地方の給水と衛生状況・DWSSのための NGO フォーラム」 Dhaka, 2000」
Avisit Reaz Quazi
「安全でない飲料水：依然として未解決の問題として残された」Nesar Ahmed DWSS ノタメノ NGO フォーラム・四半期ニュースレター 2002 年
「WSSCC―B：バングラデシュ部会報告」2002 年 8 月
Dr. Dipalok Sinha
「国家の衛生の動向」2004 年 7 月 発行元：地方自治省・バングラデシュ地方開発と協働